

景色に集中して移動



声と触覚による案内

第131回 かわさき起業家オーディション

「かわさきビジネス・アイデアシーズ賞」受賞

空間認知の社会課題を 五感IoTで解決するLOOVIC



LOOVIC株式会社

代表取締役

山中 享

私たちの周りには、何度も行ったことがある場所でも道順が覚えられない、目的地までの方向の感覚合わせができない、といった悩みを抱えている方がいます。ADHD・LDなどの発達障害や高次脳機能障害のある方、認知機能の衰えによって「空間認知」を苦手としている方たちです。目的の場所に一人で行き着くことができないため、自由に外出するのが難しいといった困りごとがあります。

「LOOVIC（ルービック）」は、こうした空間認知に問題を持つ方をサポートするためのデバイスです。「道に迷う」という困難がありながらも、一人で自由に外出できるようになりたい、自立して暮らしたい、と願う人たちの悩みをテクノロジーによって解決します。

空間認知に問題を抱えている方は、全国におよそ550万人いるといわれています。しかし、一見して分かる障害ではないため、困っているのにまわりに気づかれない、という特徴もあります。この「LOOVIC」を普及させることによって、空間認知障害という困難があることを多くの方に知ってもらいたいと願っています。そして、いずれは障害を持つ当事者だけでなく、どんな方でも便利に使えて、生活を豊かにできるようなデバイスに成長させていくのが私たちの目標です。

■受賞したビジネスに至った経緯

私の息子は、空間認知の障害を背負って生まれました。なかなか道が覚えられず迷いやすいという息子の問題に、ひとりの親としてずっと寄り添ってきました。そうした経験から、私たちと同じような悩みを抱えている方や家族が世の中にたくさんいることを知り、この課題を解決するために、起業を決意しました。

空間認知に障害を抱えている方は道に迷いやすいので、初めての場所に一人では行けません。一般の方なら1～2回行けば覚える道を、1か月、1年とくりかえし、やっと覚えられるといった感じです。その程度は人によってそれぞれ違います。家族や介助者に案内してもらいながら、一人でも行けるようになるまで練習するのです。

そして、サポートなしで目的地に行くときは、ランドスケープとなる建物のメモや写真を見たり、スマートフォンの地図に頼ったりしながら歩きます。しかし2つの動作を同時に行うことが苦手な方や、集中しすぎて周りが見えなくなってしまう方も多いため、事故になってしまう危険もあります。そのため障害を抱える方だけでなく、家族やまわりの方たちの負担や不安も大きいのです。「LOOVIC」は、そんな悩みを持つ多くの方から実用化を期待されています。

■サービスの特徴

「LOOVIC」は空間認知に問題のある方のためのルート案内サービスですが、その特長は、首にかけられるタイプのIoTデバイスを地図アプリと連動させ、触覚と骨伝導を用いた音声技術が行き先に向けて当事者を誘導するところです。迷いやすいポイントでは、ランドマークになるような建物などを声で教えます。地図の確認や“ながらスマホ”をする必要がなくなり、安心して目的地までたどり着けるようになります。

例えば一般の方でも、自宅に初めての友人を招くとき、電話で道順を教えることがありますね。「角のコンビニまで来てもらえればすぐ分かるから」といった誘導をしたいと思います。このように、目印になるものを見つめながら進んでいくのは、とてもシンプルで分かりやすい方法です。「LOOVIC」は、そういった情報を当事者に音声と触覚、骨伝導で伝えていくデバイスになります。安心できる人がそばに付き添って、案内してもらえるような感覚で使っていただけます。

■現状の課題

今後、「LOOVIC」の社会実装を実現させるためには、私たちと協業してくださるパートナー企業の存在が欠かせません。中でも、販売、生産、技術の三つの分野において、それぞれに強いパートナーを見つけることが最重要事項だと考えています。まだ量産化できる段階までには至っていないので、これからパートナーと一緒にサービスに磨きをかけ、いち早く実用化・量産化に向けた体制をつくりたいです。また、そのためには新たな人材の確保や組織の拡大も必要になってきますので、資金調達も今後の大きな課題になると認識しています。

また、「LOOVIC」で福祉機器の認定を取得したいという想いもあります。そのためには時間が必要で、量産体制が整ってから2年間はかかる想定です。その間もさらに研究・開発を続け、より安全で安心して使え

る製品にブラッシュアップしつつ、地道に活動を続けていきます。

■今後の展開

私たちと想いを共にしてくれるパートナー企業が見つかり、実用化に向けての要素が整えば、海外のクラウドファンディングに参加して、グローバルに発信していきたいと考えています。具体的には、2023年の3月から5月の間が目標です。それが成功すれば、2023年の10月ぐらいからテストマーケティングとして200台ほどを出荷し、翌年の3月から10月までの間に量産デバイスの出荷を目指しています。

さらに、ゆくゆくは「LOOVIC」を一般の方にも使っていただけるプロダクトにしていくことが目標です。例えば登山中や手荷物が多いときなど、スマートフォンで地図を確認するのが煩わしい瞬間に「LOOVIC」の音声で道案内をしてもらえればとても便利です。また、旅行先などで次の行き先を探してスマートフォンばかり見てしまうこともあります。音声のナビゲーションで誘導してもらえれば、まわりの景色もじっくり味わいながら、旅行を楽しむこともできます。

このように「LOOVIC」を常に必要としない方でも、場面によって便利に使っていただける、新しい「当たり前」をつくっていききたいという想いがあります。例えば、駅に「LOOVIC」が置いてあって必要となときに気軽に使える、といった環境をつくっていただければいいですね。

そのためには、今後のUXの磨きこみが欠かせません。今まで世の中になかった新しいデバイスなので、誰もが自然に使えるレベルに持っていくまでには、まだ時間がかかるでしょう。まずは当事者が使いやすいデバイスにしていくことを優先しつつ、いずれは誰もが使えるインクルーシブデザインを実現していきます。

■エントリーを検討中の方へ一言

応募の段階では、私たちが受賞できるとは夢にも考えていませんでした。というのも、歴代の受賞者は、すでに社会実装されているサービスだったり、製品の販売が開始されていたりと、ステージが進んでいる企業が多いと感じていたからです。私たちのように、量産化もこれからという段階で受賞できたことは大きな自信になりました。

自分の信じたビジネスを進めるためには、まずは踏み込んで、前に出てみるのが重要なのではないのでしょうか。そうすることによって、これまでになかった出会いが生まれますし、新しい人とのつながりからアイデアが見えてくることもあるでしょう。また、かわさき起業家オーディションには、何度も再エントリーができるという特長もあります。ステージに関係なく挑戦できますので、まずは行動してみてください。

会社名：LOOVIC株式会社

住 所：〒104-0061

東京都中央区銀座1-22-11

問合せ先：contact@loovic.co.jp

ホームページ：https://www.loovic.co.jp/ja